

こちら町長室



新栗山赤十字病院の令和8年開院を目指す！

町民の皆さん、こんにちは。

小暑も近づき、北海道もいよいよ本格的な夏がやってまいります。いかがお過ごしでしょうか。

コロナ禍という長いトンネルを抜け、本町も6月1日から、全ての町民活動・経済活動を再開したところであり、徐々にではありますが、町内にも活気と賑わいが戻りつつあります。

そのような中、6月16日から4日間にわたった議会定例会に、新型コロナウイルス感染症対策として寄付されました。

そのような中、6月16日から4日間にわたった議会定例会に、新型コロナウイルス感染症対策として寄付されました。

今回の第3弾は、①感染拡大防止、②事業者等支援、③消費喚起等支援、④教育環境整備・支援の4項目に重点化した内容となっております。

①感染拡大防止の主な事業として、災害時に備えた「指定避難所の備蓄品購入」や、家族内感染の不安解消を図る「ショートスティ（自主隔離）安心支援事業」などに取り組みます。

②事業者等支援の主な事業として、店舗の家賃負担を軽減する「家賃助成特別給付金」、生活交通を確保する「町内タクシー運行支援事業」、町内の福祉施設や医療機関を支援する「福祉施設等支援事業」などに取り組みます。

③消費喚起等支援の主な事業として、全町民に3千円分の地域応援券を発行する「くりやま地域応援券発行事業」、ふるさと納税を活用して飲食店等を支援する「飲食店応援クラウドファンディング支援事業」などに取り組みます。

④教育環境整備・支援の主な事業として、町内小中学生への「1人1台端末整備事業」、町内小中学校の教室・保健室にエアコンを整備する「学校施設環境改善事業」などに取り組みます。

この教育環境整備に合わせて、光回線の未整備地域における「高度無線環境整備推進事業」に取り組むことにしました。

光回線を全町整備することで、同一町

内における情報格差の解消はもとより、今般のコロナ禍で課題として浮き彫りになった、子どもたちのオンライン教育の実現が可能となるものです。

また、今議会において、喫緊の課題となっている「栗山赤十字病院の改築」について、令和8年の新病院開院を目指し進めていくことを、正式に表明いたしました。

本町唯一の総合病院として、地域医療の中心的役割を担っていただいている栗山赤十字病院は、昭和55年建築で老朽化が進んでおり、また耐震性の問題もあり、私も町長就任時より、今後解決しなければならない町政課題の一つとして掲げておりました。

この病院整備については、平成22年から検討を進めてきましたが、50億円を超える改築費用や、広域連携による病院整備の可否などの難題があり、これまで方向付けができずにおりました。

そのような中、本年1月に、町内医療機関や町民代表などで組織する検討委員会から最終報告を受け、町として、多額の建設費に対する財政負担や病院運営などについて検討を行うとともに、栗山赤十字病院と費用負担について、協議を行ってまいりました。

また、長期的な町財政への影響額を試算し、今後の財政負担に耐え得ると判断し、「栗山赤十字病院の早期改築」を行うことを決定したところであります。

今後、私たちは、コロナ時代に求められる「新しい生活様式」を講じながら、町政運営を行っていく必要があります。

今年8月には、栗山町新型コロナウイルス感染症対策の「基本的対処方針」や、「新しい生活様式の実践」などを掲載したガイドブックを作成し、全戸配布する予定です。

町民の皆さんと一致協力し、このコロナ禍を乗り越えてまいりたいと思いますので、今後とも、ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

栗山町長 佐々木 学



栗山建設協会から新型コロナウイルス感染症対策として寄付されました。



鳥村幸子さん（ガーデンハウスくりやま入所）に百歳祝い記念品を贈呈しました。



栗山ロータリークラブから感染対策用フェイスシールドが寄贈されました。



ハサンベツ川の町民工事に参加しました。

【今月の主な動向】

※変更となる場合があります。

日 程	内 容
7月1日(水)	まちづくり懇話会
7月3日(金)	栗山町企業誘致推進協議会 令和2年度総会 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた意見交換会（空知総合振興局主催）
7月8日(水)	くりやま農業未来塾開塾式
7月14日(火)	第70回回社会を明るくする運動表敬訪問（栗山地区保護司会）
7月20日(月)	栗山町農業委員会第1回総会
7月30日(水)	角田市長および正副議長来町

栗山赤十字病院の早期改築に向けて

栗山町病院整備方針を策定します

①これまでの検討経過

病院整備については、平成22年から平成27年まで「栗山赤十字病院あり方検討会」において検討を行い、平成28年から平成30年までは「栗山町の医療環境整備を検討する町民委員会」、令和元年には「栗山赤十字病院改築等検討委員会」において、本町に必要な医療機能・体制や病院整備手法などについて検討を重ねてきました。

令和2年1月に、栗山赤十字病院改築等検討委員会の検討結果において、病院整備手法として「栗山赤十字病院の改築・改修が1希望ましい」との報告を受けました。

②病院整備方針策定の背景

検討結果報告を受け、建設費に対する財政負担や安定的な病院運営など、より経済的・効果的な病院整備となるよう検討を行うとともに、栗山赤十字病院と費用負担に関する協議を行い、一定の方向性を整理いたしました。病院整備にあたり、長期的な町財政への影響額について試算した結果、今後の財政負担に耐え得ると判断したこ

とから、行政として「栗山赤十字病院の早期改築」を行うことを決定し、本町が描く病院整備の基本的事項を定める「栗山町病院整備方針」を策定いたします。

③病院整備方針に定める事項

栗山赤十字病院の改築を進めるにあたり、本町が描く病院整備方針に定める基本的事項は、次のとおりです。

- 診療科
- 病床数
- 概算事業費
- 建設費用負担の考え方
- 新病院の位置など

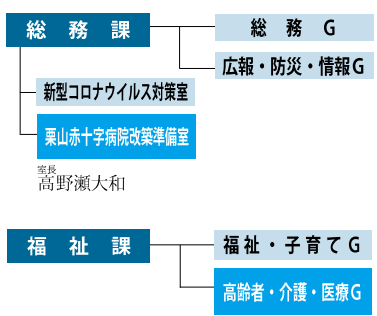
④病院整備方針の策定プロセス

今後、栗山町病院整備方針策定委員会を設置し、整備方針（案）を作成いたします。

【委員構成】

栗山赤十字病院関係者、医療関係者、地域代表者、一般公募委員、行政関係者、なお、アドバイザーとして医療経営コンサルタントを予定しています。

組織機構と職員の配置（7月1日付）



栗山赤十字病院改築整備に向けた想定スケジュール

令和 2 年度													令和 3 年度													令和 4 年度													令和 5 年度												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
基本構想・計画													設計 監理													基本設計													実施設計												
策定委員会																																																			
町民等 懇話会																																																			